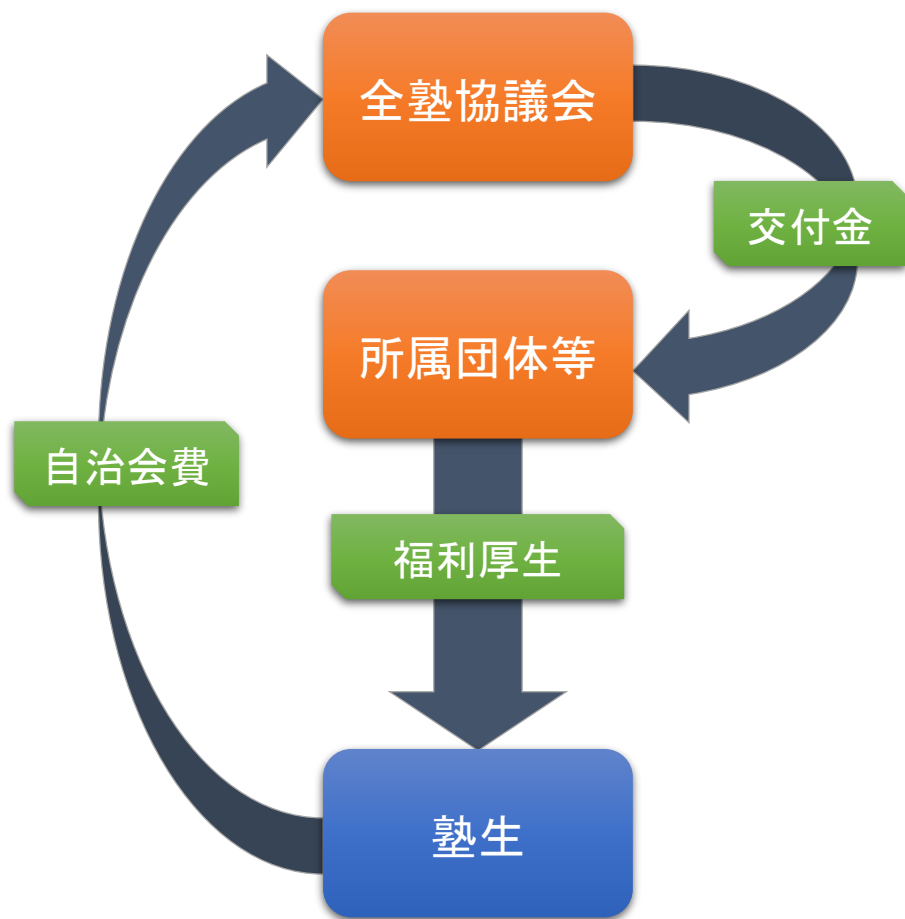


# 全塾協議会リーダーズキャンプ 2019年 自治会費交付金配分報告

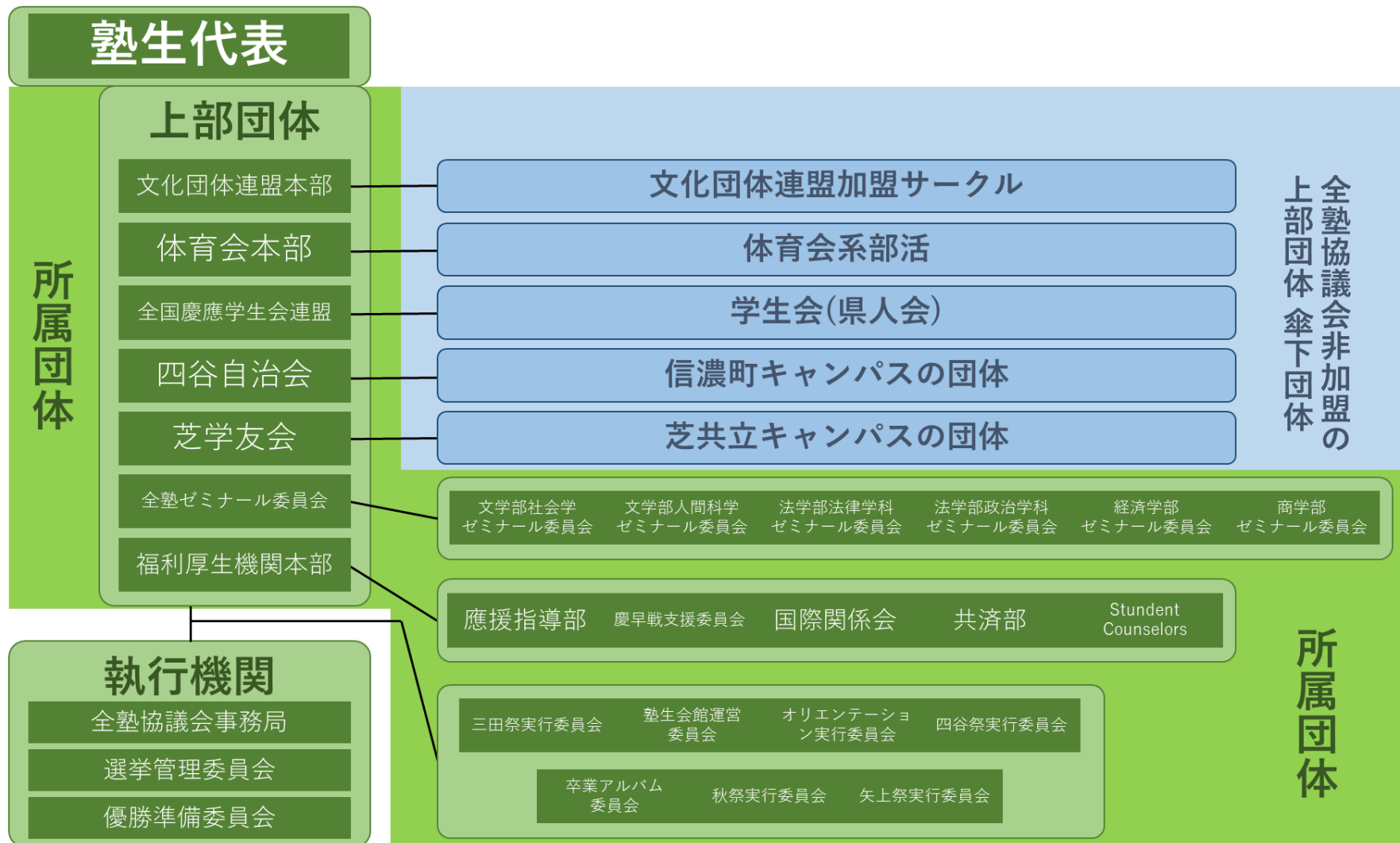
慶應義塾大学塾生代表 前田じん

## 全塾協議会のお金の流れ

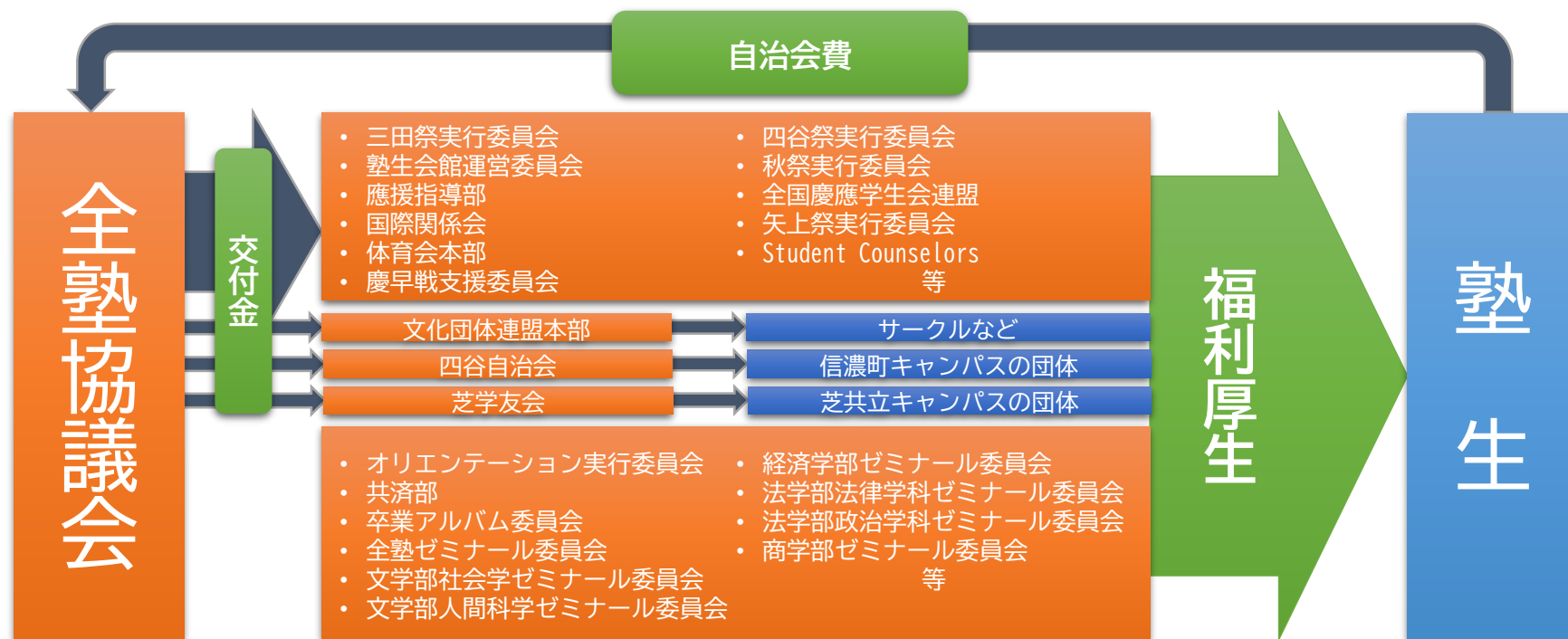


慶應義塾大学では、全塾生（学部正規生）に一人750円を自治会費として協力して納めて頂いています。この総額は約2000万円となっており、これを塾生生活に大きく関係する団体に分配し、その活動を通して塾生の福利厚生に還元しています。

# 全塾協議会の組織



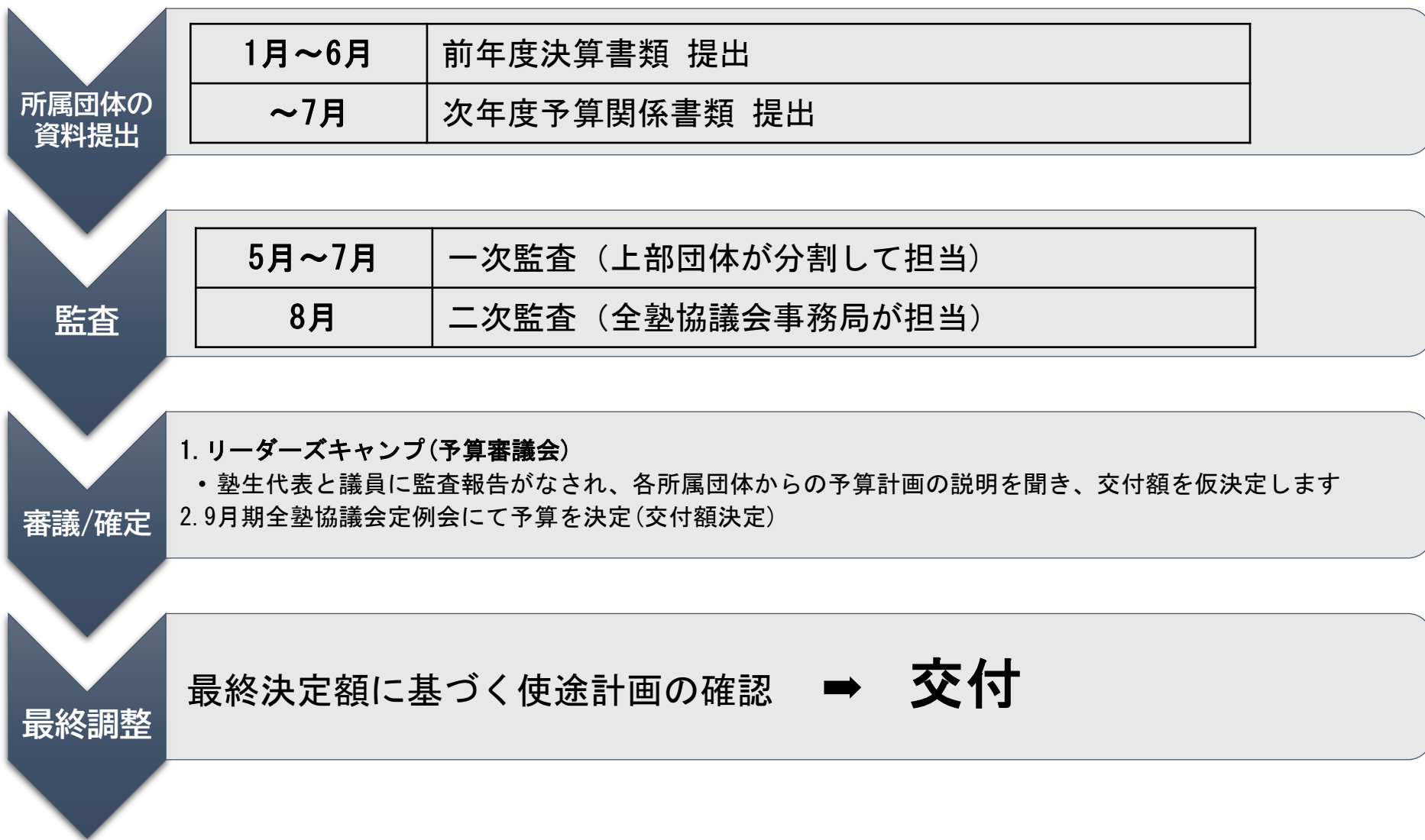
# 自治会費の主な分配先



自治会費交付金の大部分は、多数の塾生がに関わるために比較的公共性が高い団体である、全塾協議会所属団体に交付されています。他の一部は所属団体を通して、サークル等に分配されます。

所属団体は、団体で自ら集めた独自財源のみで運営している団体や、交付金と独自財源を併用して運営している団体が多数です。

# 自治会費交付金の交付までの大まかな手順



## 2019年度決定 全塾協議会交付金額

団体名	傘下団体	交付金額
全塾協議会事務局		360,000
全国慶應学生会連盟		400,000
全塾ゼミナール委員会		0
	文学部社会科学 ゼミナール委員会	0
	文学部人間科学 ゼミナール委員会	0
	経済学部 ゼミナール委員会	0
	法学部法律学科 ゼミナール委員会	0
	法学部政治学科 ゼミナール委員会	0
	商学部 ゼミナール委員会	0
体育会本部		2,046,500
文化団体連盟		2,300,000
四谷自治会		750,000
芝学友会		2,400,000

団体名	傘下団体	交付金額
福利厚生機関本部	應援指導部	855,000
	共済部	0
	慶早戦支援委員会	370,000
	国際関係会	1,250,000
	Student Counselors	35,000
オリエンテーション 実行委員会		0
塾生会館運営委員会		90,000
卒業アルバム 実行委員会		0
三田祭実行委員会		1,961,000
矢上祭実行委員会		1,600,000
四谷祭実行委員会		1,100,000
秋祭実行委員会		800,000
選挙管理委員会		1,000,000
優勝準備委員会		800,000

# 全塾協議会事務局

## 2019年度決定 交付額

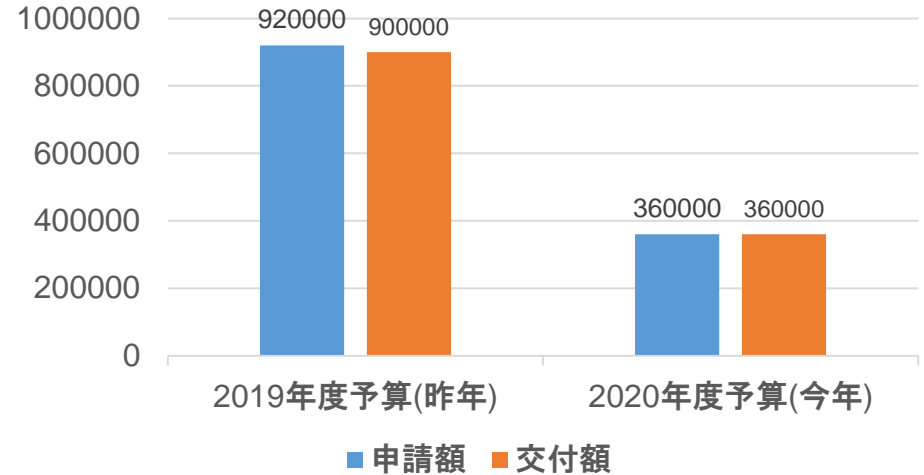
360,000円  
(-540,000円)

満額  
交付

昨年より  
減少

2019年申請額  
360,000円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

360,000円の申請額に対し、360,000円の満額交付とした。  
提出された決算書類は丁寧なものであり、財務体制が健全だと判断した。  
資金の節約もできており、交付金の使途も明確であると判断した。  
申請額が昨年に比べて540,000円の減額となった理由は、繰越金の余剰整理のためである。

# 全国慶應学生会連盟

## 2019年度決定 交付額

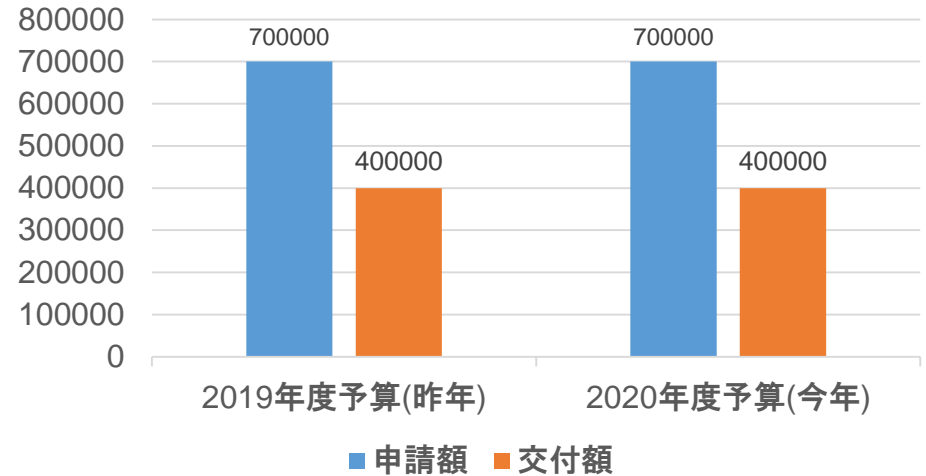
400,000円

(±0円)

昨年と  
変わらず

2019年申請額  
700,000円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

700,000円の申請額に対し、昨年と同様400,000円の交付とした。  
活動内容は明確であり、公益性の高いものであると判断した。  
交付金会計の繰越金が多かったため、昨年同様の300,000円減額することをご理解いただいた。



# 全塾ゼミナール委員会

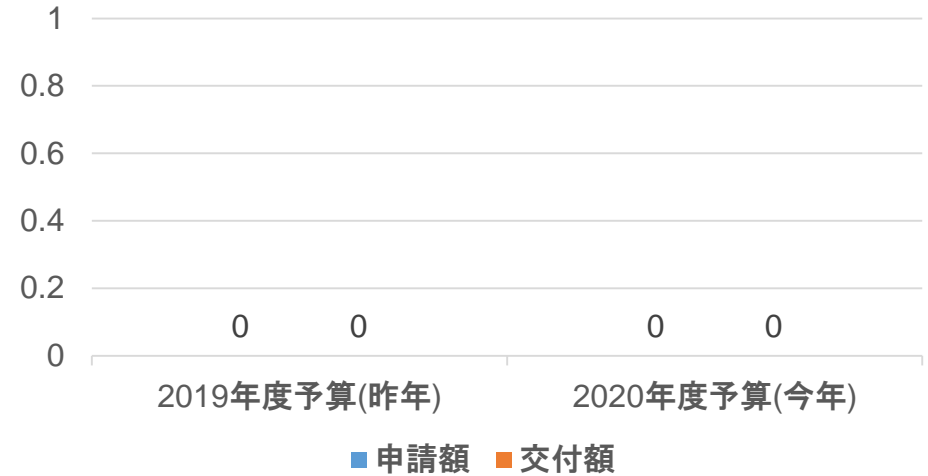
## 2019年度決定 交付額

0円  
(±0円)

昨年と  
変わらず



## 交付額推移



## 塾生代表所感

0円の申請額に対し、昨年と同様0円の交付金額とした。  
年間の活動内容は非常に活発であり、慶應義塾大学に大いなる貢献をしていると判断した。  
提出決算書類の監査報告を踏まえても、大きな懸念点はなく健全な財務体制であると認識した。  
全塾ゼミナール委員会は、全塾協議会からの交付金配分なしに、独自財源会計で運営が行えている団体である。

# 全塾ゼミナール委員会傘下 文学部社会学ゼミナール委員会

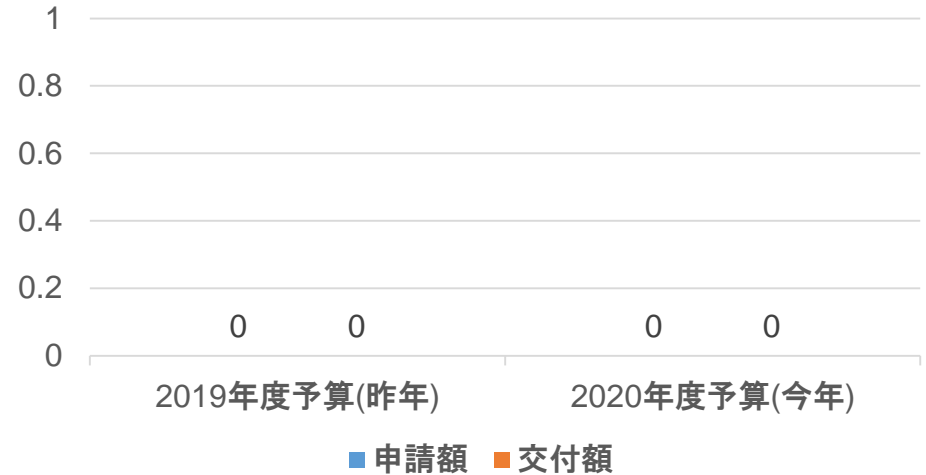
## 2019年度決定 交付額

0円  
(±0円)

昨年と  
変わらず



## 交付額推移



## 塾生代表所感

0円の申請額に対し、昨年と同様0円の交付金額とした。  
年間の活動内容は非常に活発であり、慶應義塾大学に大いなる貢献をしていると判断した。  
提出決算書類の監査報告を踏まえても、大きな懸念点はなく健全な財務体制であると認識した。  
文学部社会学ゼミナール委員会は、全塾協議会からの交付金配分なしに、独自財源会計で運営が行  
えている団体である。

# 全塾ゼミナール委員会傘下 文学部人間科学ゼミナール委員会

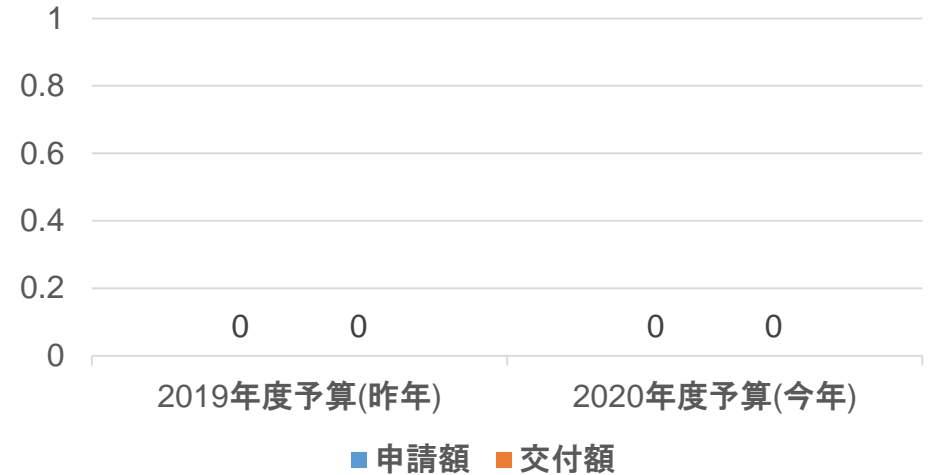
## 2019年度決定 交付額

0円  
(±0円)

昨年と  
変わらず

2019年申請額  
0円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

0円の申請額に対し、昨年と同様0円の交付金額とした。  
年間の活動内容は非常に活発であり、慶應義塾大学に大いなる貢献をしていると判断した。  
提出決算書類の監査報告を踏まえても、大きな懸念点はなく健全な財務体制であると認識した。  
文学部人間科学ゼミナール委員会は、全塾協議会からの交付金配分なしに、独自財源会計で運営が行えている団体である。

# 全塾ゼミナール委員会傘下 経済学部ゼミナール委員会

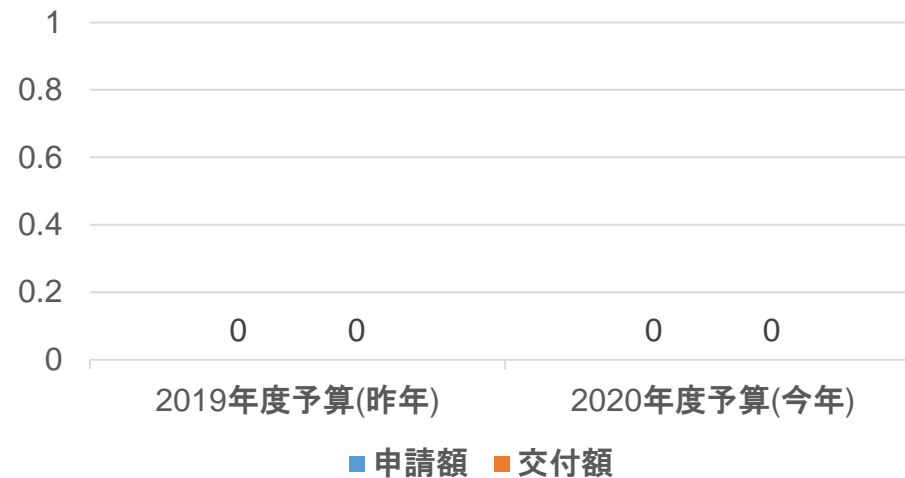
## 2019年度決定 交付額

0円  
(±0円)

昨年と  
変わらず



## 交付額推移



## 塾生代表所感

0円の申請額に対し、昨年と同様0円の交付金額とした。  
年間の活動内容は非常に活発であり、慶應義塾大学に大いなる貢献をしていると判断した。  
提出決算書類の監査報告を踏まえても、大きな不備はなく健全な財務体制であると認識した。  
経済学部ゼミナール委員会は、全塾協議会からの交付金配分なしに、独自財源会計で運営が行えている団体である。

# 全塾ゼミナール委員会傘下 法学部法律学科ゼミナール委員会

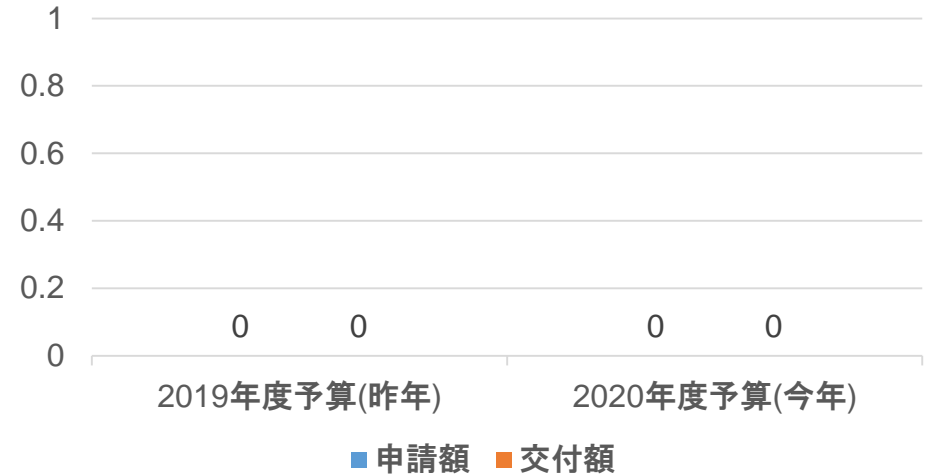
## 2019年度決定 交付額

0円  
(±0円)

昨年と  
変わらず

2019年申請額  
0円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

0円の申請額に対し、昨年と同様0円の交付金額とした。  
年間の活動内容は非常に活発であり、慶應義塾大学に大いなる貢献をしていると判断した。  
提出決算書類の監査報告を踏まえても、大きな不備はなく健全な財務体制であると認識した。  
法学部法律学科ゼミナール委員会は、全塾協議会からの交付金配分なしに、独自財源会計で運営が行えている団体である。

# 全塾ゼミナール委員会傘下 法学部政治学科ゼミナール委員会

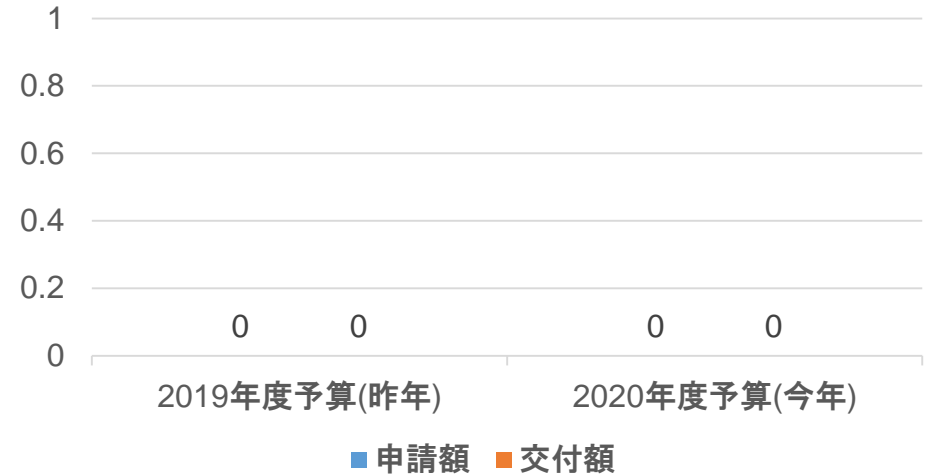
## 2019年度決定 交付額

0円  
(±0円)

昨年と  
変わらず

2019年申請額  
0円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

0円の申請額に対し、昨年と同様0円の交付金額とした。  
年間の活動内容は非常に活発であり、慶應義塾大学に大いなる貢献をしていると判断した。  
提出決算書類の監査報告を踏まえても、大きな不備はなく健全な財務体制であると認識した。  
法学部政治学科ゼミナール委員会は、全塾協議会からの交付金配分なしに、独自財源会計で運営が行えている団体である。

# 全塾ゼミナール委員会傘下 商学部ゼミナール委員会

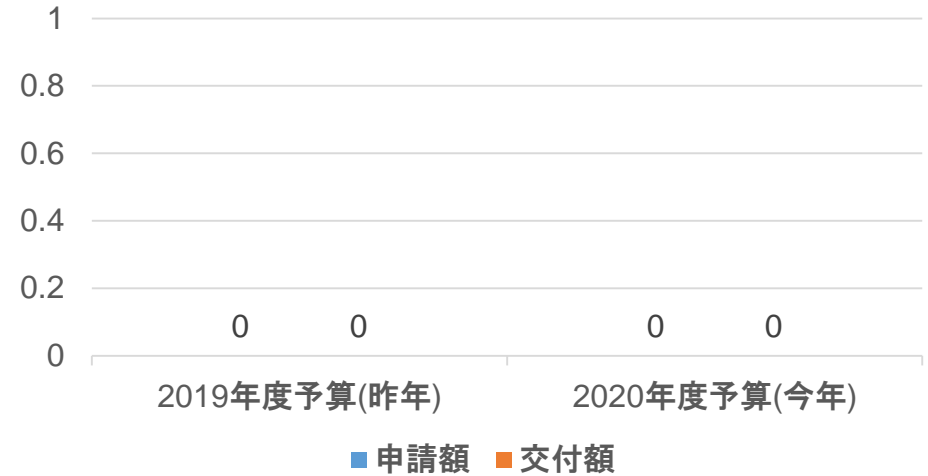
## 2019年度決定 交付額

0円  
(±0円)

昨年と  
変わらず



## 交付額推移



## 塾生代表所感

0円の申請額に対し、昨年と同様0円の交付金額とした。  
年間の活動内容は非常に活発であり、慶應義塾大学に大いなる貢献をしていると判断した。  
提出決算書類の監査報告を踏まえても、大きな不備はなく健全な財務体制であると認識した。  
商学部ゼミナール委員会は、全塾協議会からの交付金配分なしに、独自財源会計で運営が行えている団体である。

# 体育会本部

## 2019年度決定 交付額

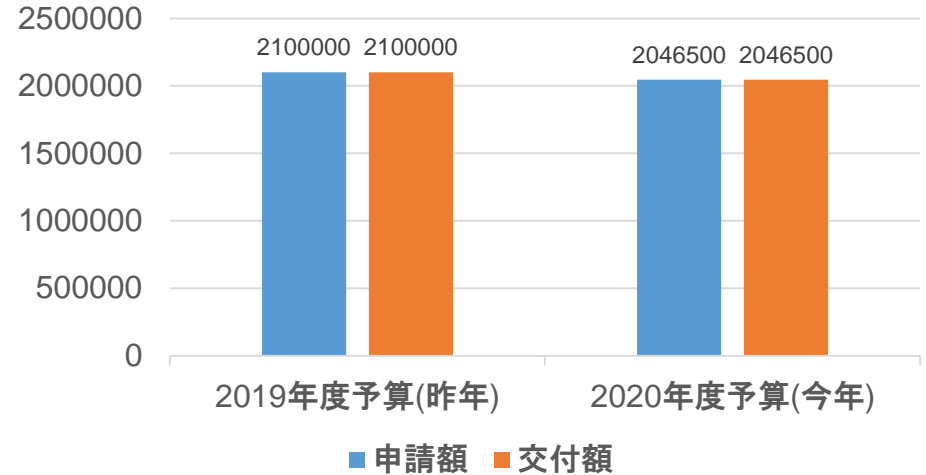
~~2,046,500円~~  
(-53,500円)

満額  
交付

昨年より  
減少

2019年申請額  
2,046,500円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

2,046,500円の申請額に対し、2,046,500円の満額交付とした。  
提出された決算書類は丁寧なものであり、財務体制が健全だと判断した。  
交付金用途内容が透明であり、交付金使用の意味も十分理解していると判断した。  
新しい企画にも使用してもらうため、満額交付とした。



# 文化団体連盟本部

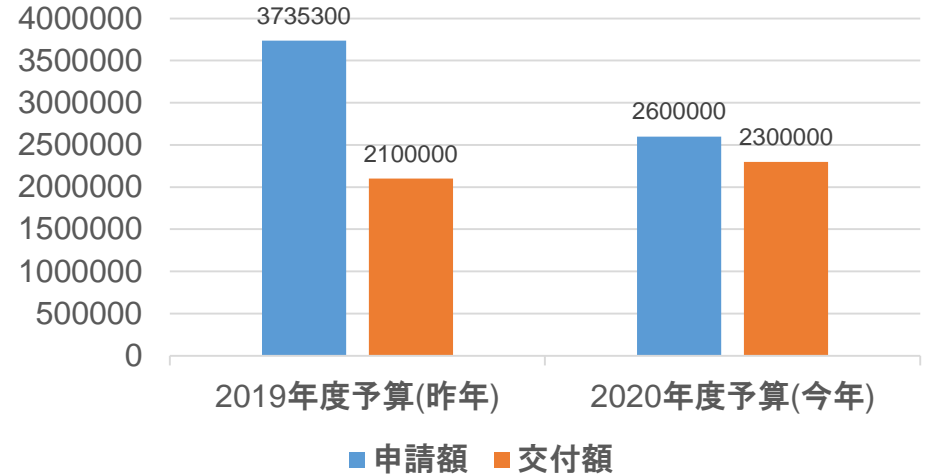
## 2019年度決定 交付額

2,300,000円  
(+200,000円)

昨年より  
増加

2019年申請額  
2,600,000円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

2,600,000円の申請額に対し、2,300,000円の交付とした。交付額は2019年12月17日(月)に行われた12月期全塾協議会定例会にて決定した。

傘下団体(文連サークル)への交付金を合計2,500,000円と申請していたが、どの団体にどの程度分配するかが不明確であったために減額を行った。

改善策として、今後は文化団体連盟として事前に傘下団体から要求額を集めて予算編成を行い、来年以降の予算審議の際には用途計画がより明確になるように指示した。

# 四谷自治会

## 2019年度決定 交付額

750.000円

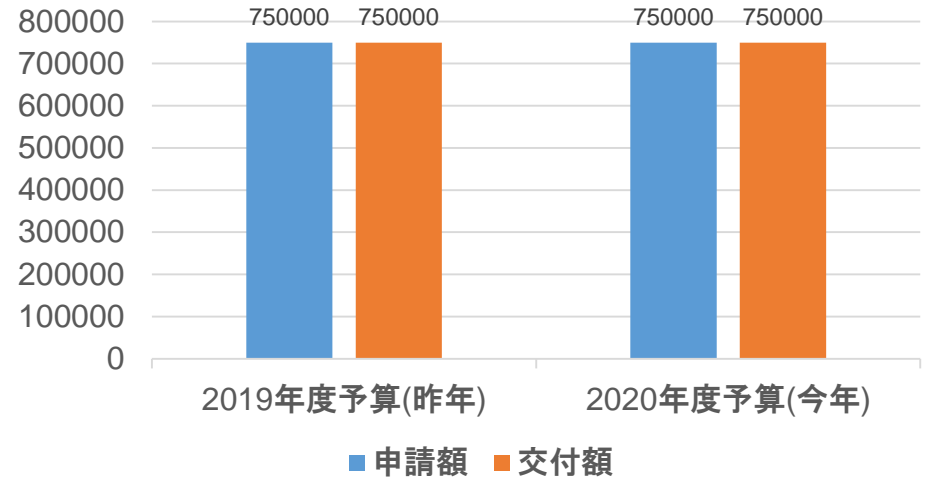
(±0円)

満額  
交付

昨年と  
変わらず

2019年申請額  
750,000円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

750,000円の申請額に対し、750,000円の満額交付とした。  
財務管理が健全であり、活動内容の公益性が高いと判断した。  
繰越金も使用していく方針であるため、満額交付とした。

# 芝学友会

## 2019年度決定 交付額

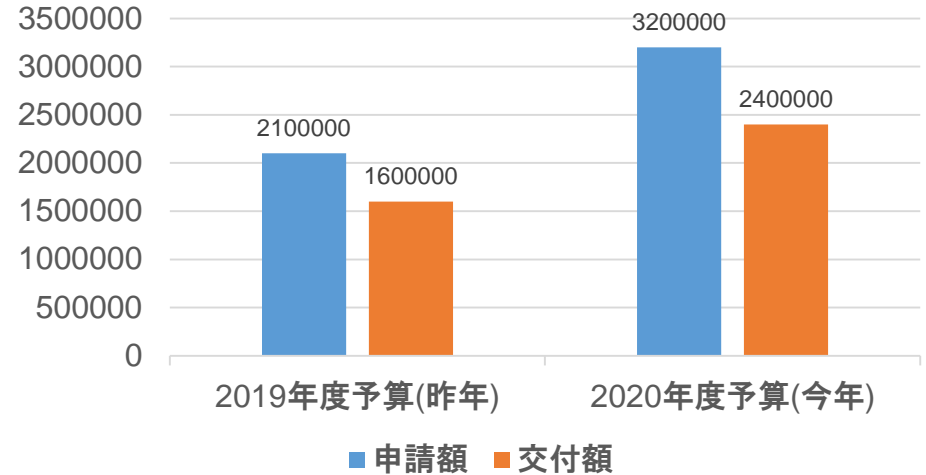
# 2,400,000円

※うち芝共薬祭実行委員会に700,000円  
(+800,000円)

昨年より  
増加

2019年申請額  
3,200,000円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

3,200,000円の申請額に対し、2,400,000円の交付とした。

芝共薬祭を存続させるため増額が必要と判断した。

決算書類に不透明な点が多く、特に芝共薬祭の用途計画が不透明であることは問題であると認識した。

芝共薬祭について、保護者会がスポンサーとなっていて行っている弊害として、実施の意義やプライオリティが不明であると判断した。

また、協賛金の獲得により、一層力を注げると判断した。

以上を踏まえ昨年から80万円の増額交付としたが、うち10万円は繰越金を増やしていただくための増額である。

# 福利厚生機関本部傘下 應援指導部

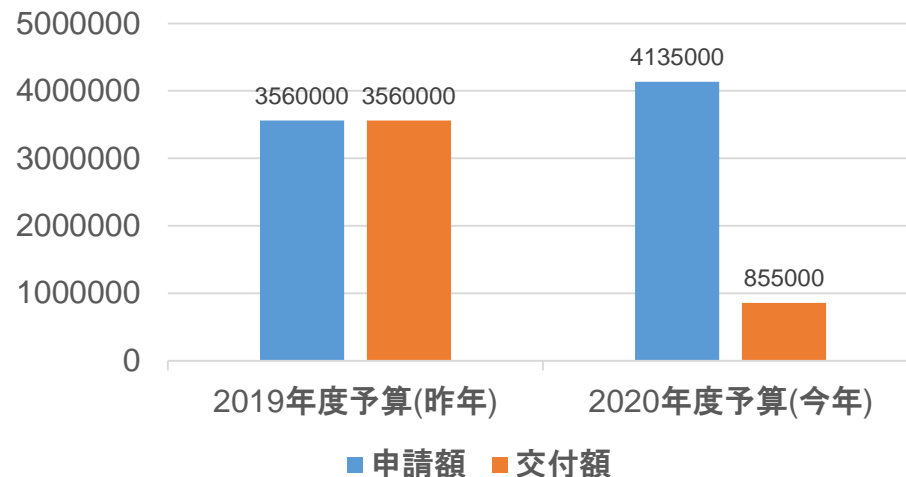
## 2019年度決定 交付額

855,000円  
(~~−2,705,000円~~)

昨年より  
減少

2019年申請額  
4,135,000円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

4,135,000円の申請額に対し、3,805,000円の交付と一時的にしたが、2020年1月31日の臨時会にて855,000円の交付に変更とした。

提出された決算書類は丁寧なものであり、財務体制が健全だと判断した。

団体のリーダー部内で確認された不適切な行為は、慶應義塾大学全体のイメージを低下させるものであり、全塾協議会ならびに塾生からの信頼を大きく損ねる事態となった。事態を重く踏まえ、全塾協議会は、2020年1月31日に臨時会にて、所属団体の過去の処分事例を参考に減額処分とした。

尚、855,000円はチアリーディング部と吹奏楽団の最低限の固定費等としてあてられる。

# 福利厚生機関本部傘下 共済部

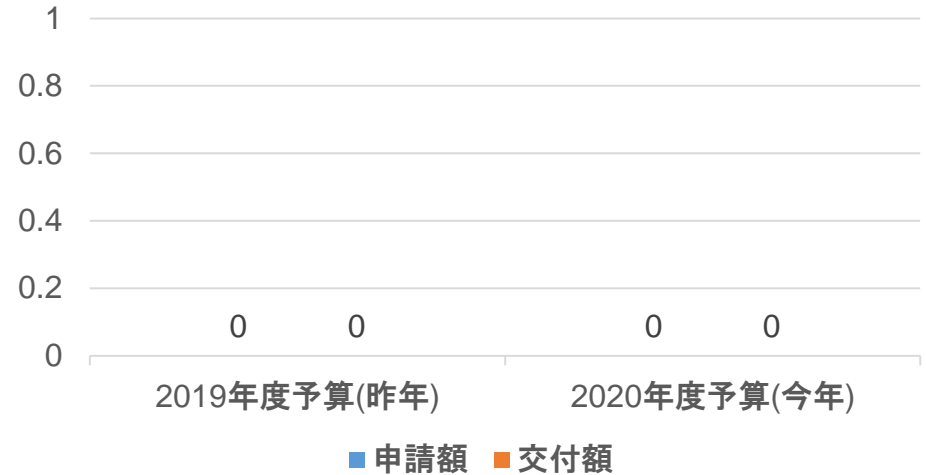
## 2019年度決定 交付額

0円  
(±0円)

昨年と  
変わらず

2019年申請額  
0円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

0円の申請額に対し、昨年と同様0円の交付金額とした。  
年間の活動内容は非常に活発であり、慶應義塾大学に大いなる貢献をしていると判断した。  
財務状況に不透明な点があり、問題もあると認識した。  
共済部は、近年全塾協議会からの交付金配分はないものの、以前受け取っていた交付金の残額を毎年利用している団体である。

# 福利厚生機関本部傘下 慶早戦支援委員会

## 2019年度決定 交付額

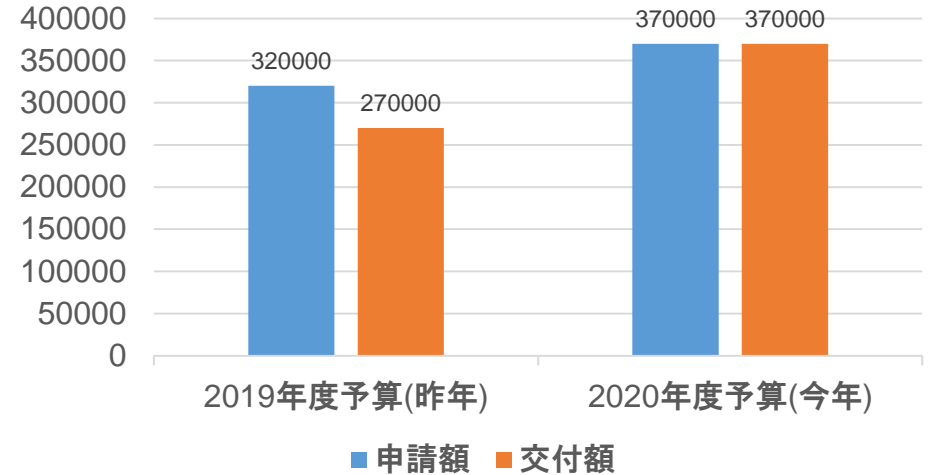
370,000円  
(+100,000円)

満額  
交付

昨年より  
増加

2019年申請額  
370,000円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

370,000円の申請額に対し、370,000円の満額交付とした。  
提出された決算書類の監査結果で減点が少なく、財務状況が明確であると判断した。  
交付金の使用理由や増額理由が妥当であると判断した。  
慶早戦は慶應のアイコンであるため、370,000円の満額交付とした。

# 福利厚生機関本部傘下 国際関係会

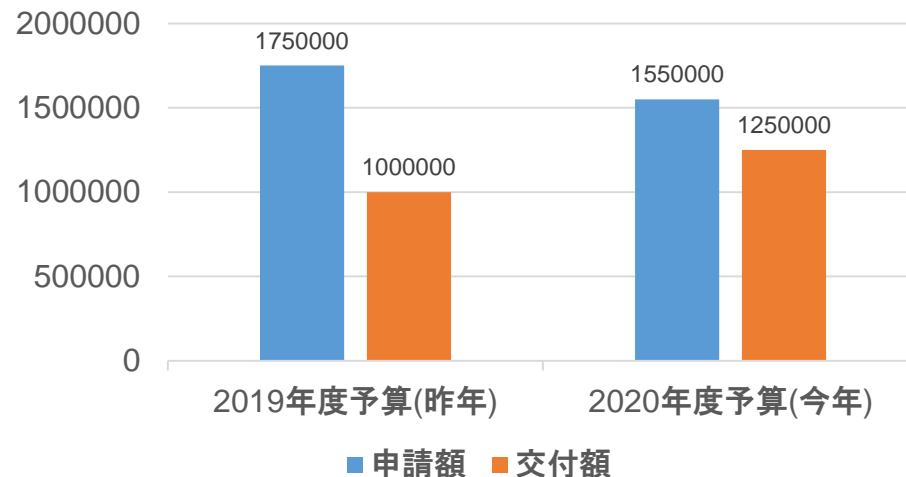
## 2019年度決定 交付額

~~1,250,000円  
(+250,000円)~~

昨年より  
増加

2019年申請額  
1,550,000円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

1,550,000円の申請額に対し、1,250,000円の交付とした。  
活動内容が特定の塾生に大きく貢献しており、魅力的かつアクティブなものであると判断した。  
一方、団体の統制に問題があり、塾生代表選挙運営のボランティアなどによる全塾協議会への貢献度も低いと判断した。  
財務管理に関して、交通費の処理に不明点が多いと判断した。  
全塾生が関わられるようなイベントをぜひやっていただきたいため、昨年度から250,000円の増額とした。

# 福利厚生機関本部傘下 Student Counselors

## 2019年度決定 交付額

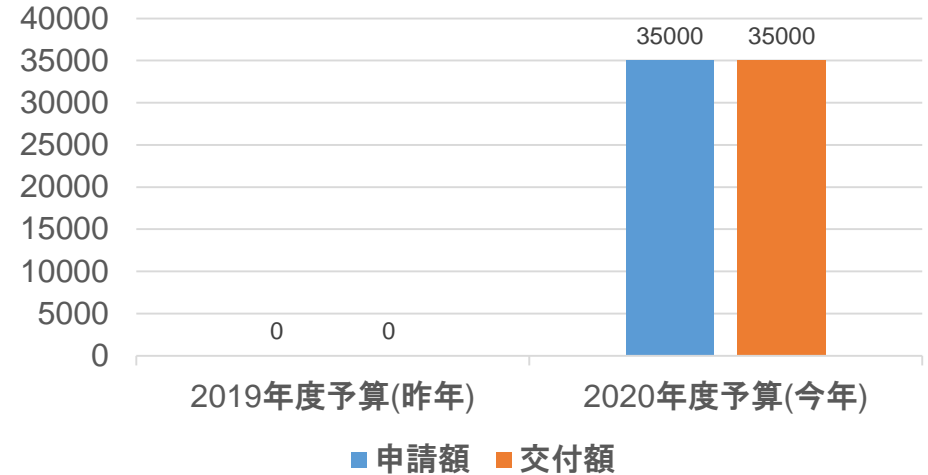
35,000円  
(+35,000円)

満額  
交付

昨年より  
増加

2019年申請額  
35,000円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

35,000円の申請額に対し、35,000円の満額交付とした。

必要十分な交付額であると判断した。

財務の健全化の努力、申請額が少ないなどの理由で妥当と判断した。

一方で、財務状況は良くはなかったことや、独自財源の導入をするべきであるということも考慮した。



# オリエンテーション実行委員会

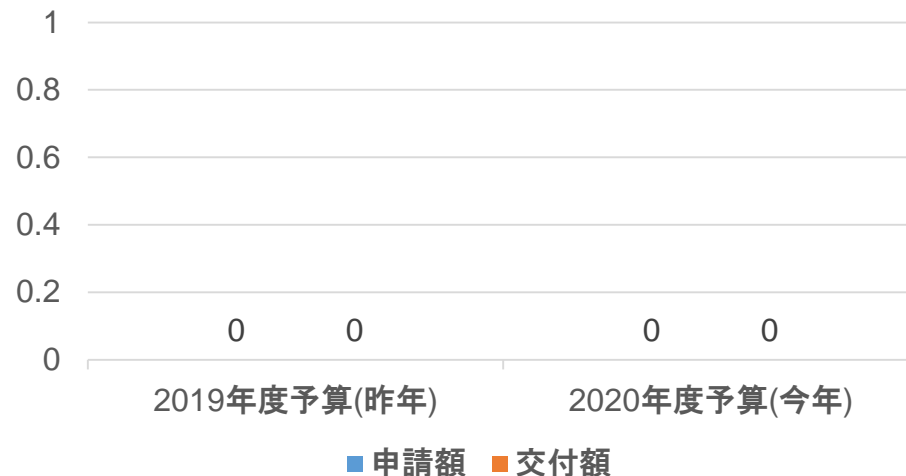
## 2019年度決定 交付額

0円  
(±0円)

昨年と  
変わらず



## 交付額推移



## 塾生代表所感

0円の申請額に対し、昨年と同様0円の交付金額とした。  
年間の活動内容は非常に活発であり、慶應義塾大学に大いなる貢献をしていると判断した。  
提出決算書類の監査報告を踏まえても、大きな不備はなく健全な財務体制であると認識した。  
オリエンテーション委員会は、全塾協議会からの交付金配分なしに、独自財源会計で運営が行えている団体である。

# 塾生会館運営委員会

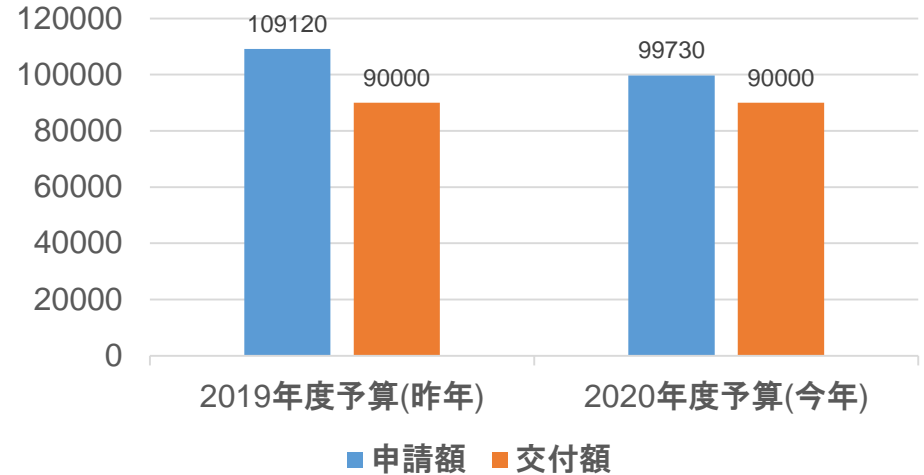
## 2019年度決定 交付額

90,000円  
(±0円)

昨年と  
変わらず

2019年申請額  
99,730円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

99,730円の申請額に対し、90,000円の交付とした。  
提出された決算書類は丁寧であり、輪転機購入のための積み立てに意義はあると判断した。  
予算審議会(リーダーズキャンプ)への出席連絡に不手際があり、独自財源の繰越金が多かった。日頃の活動があまり明確でなく、広報に力を入れるべきと認識した。  
やる気の維持のために過度な減額はすべきではないと考えた。

# 卒業アルバム委員会

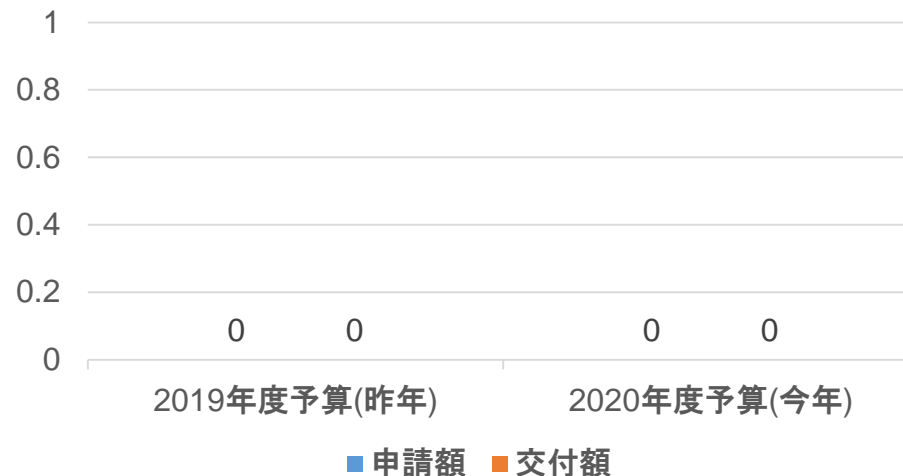
## 2019年度決定 交付額

0円  
(±0円)

昨年と  
変わらず



## 交付額推移



## 塾生代表所感

0円の申請額に対し、昨年と同様0円の交付金額とした。  
年間の活動内容は非常に活発であり、慶應義塾大学に大いなる貢献をしていると判断した。  
財務状況に不透明な点があり、問題もあると認識した。  
卒業アルバム委員会は、全塾協議会からの交付金配分なしに、独自財源会計で運営が行えている団体である。

# 三田祭実行委員会

## 2019年度決定 交付額

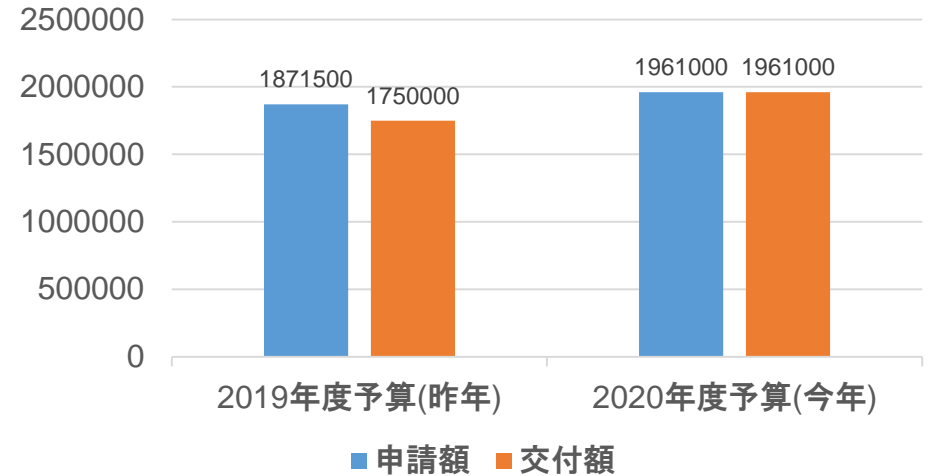
~~1,961,000円  
(+211,000円)~~

満額  
交付

昨年より  
増加

2019年申請額  
1,961,000円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

1,961,000円の申請額に対し、1,961,000円の満額交付とした。  
提出された決算書類は極めて丁寧であった。  
使用用途が明確であると判断した。  
ステージ代の値上げと保険料を2年分支払わなければならないなど、増額理由が合理的であると判断した。

# 矢上祭実行委員会

## 2019年度決定 交付額

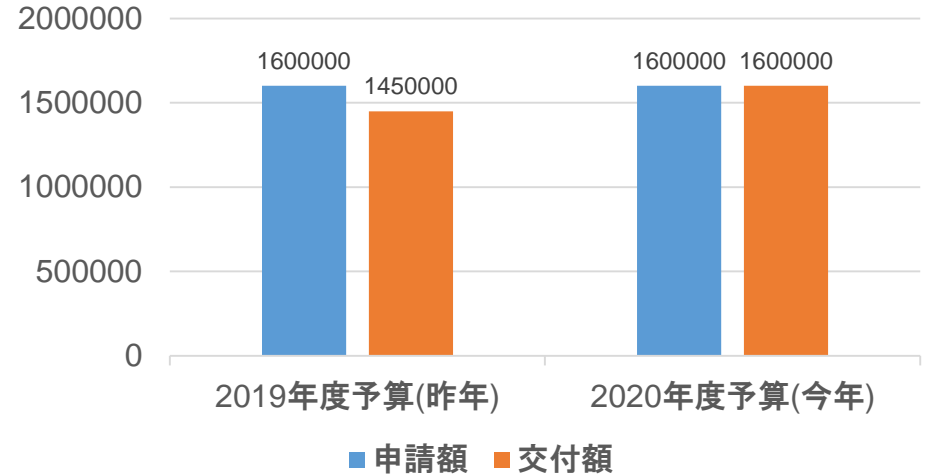
~~1,600,000円  
(+150,000円)~~

満額  
交付

昨年より  
増加

2019年申請額  
1,600,000円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

1,600,000円の申請額に対し、1,600,000円の満額交付とした。  
決算書類の不備は悪質ではなく、減額措置をとる必要はないと判断した。  
一方で、繰越金が多いことや、決算書類の提出が遅延したことは問題であることも認識した。  
使用目的が明確である、20回目の開催である、地域性に根差している、企画が面白いという理由で満額交付とした。

# 四谷祭実行委員会

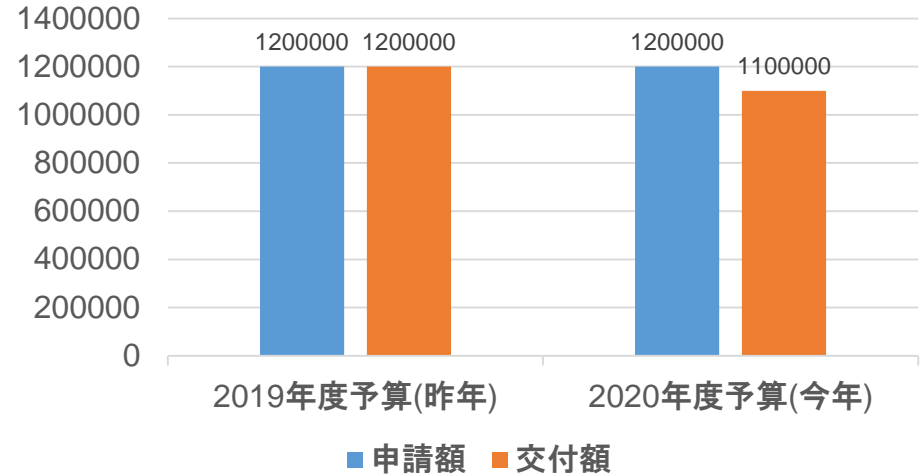
## 2019年度決定 交付額

~~1,100,000円~~  
(-100,000円)

昨年より  
減少

2019年申請額  
1,200,000円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

1,200,000円の申請額に対し、1,100,000円の交付とした。  
企画内容が医学部のオープンキャンパスや子供たちのためと明確であると判断した。  
企画数が少ない、ステージ費が規模に比べて高い、グッズ費や新歓食事代などの無駄と思われる独自財源の使用が目立っている、スポンサー集めに努力していない、という理由で100,000円減額とした。

# 秋祭実行委員会

## 2019年度決定 交付額

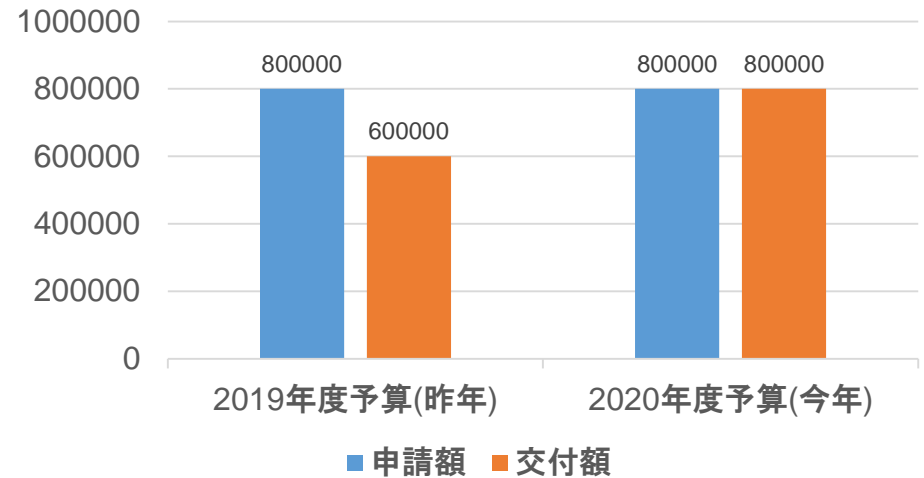
800,000円  
(+200,000円)

満額  
交付

昨年より  
増加

2019年申請額  
800,000円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

800,000円の申請額に対し、800,000円の満額交付とした。

3年前の財務状況の失態が健全化したという印象を与えかねないために5万円程度の減額することも検討したが、そうした責任が現任の委員に押し付けられることが続いてしまうことも考慮し、30回目の秋祭に向けた活動を盛り上げたいという意思を尊重したため満額交付とした。

# 選挙管理委員会

## 2019年度決定 交付額

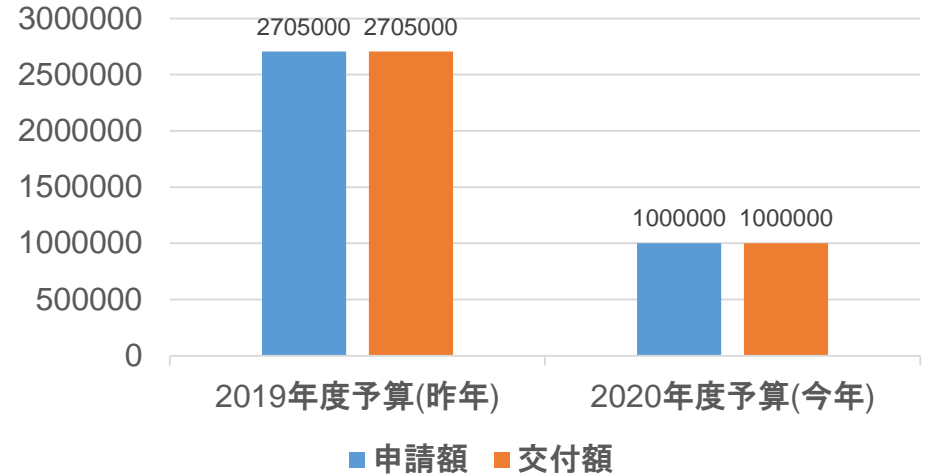
~~1,000,000円  
(-1,705,000円)~~

満額  
交付

昨年より  
減少

2019年申請額  
1,000,000円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

1,000,000円の申請額に対し、1,000,000円の満額交付とした。  
この交付額であれば、塾生代表の公約3達成度は十分であると判断した。  
はがきの廃止は初めてであり、保険の意味も併せて多少多めの交付額とした。  
丁寧に使用して頂き、余剰分は繰越金にあてるように促した。



# 優勝準備委員会

## 2019年度決定 交付額

800,000円

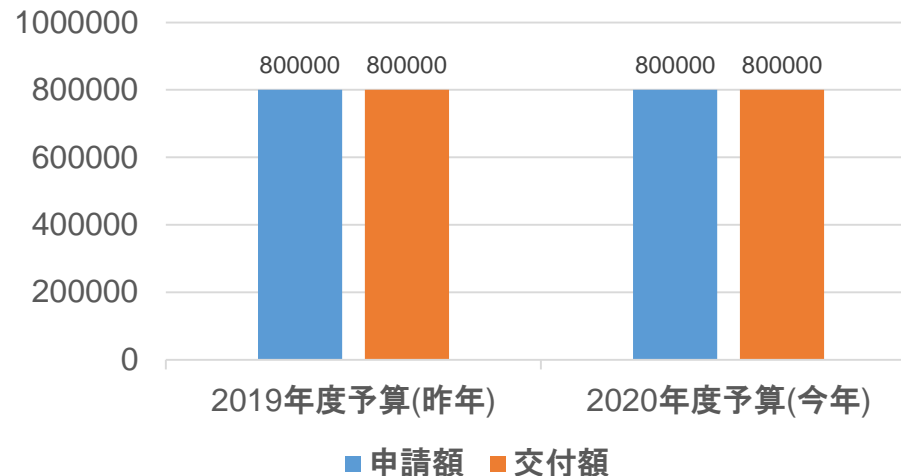
(±0円)

満額  
交付

昨年と  
変わらず

2019年申請額  
800,000円

## 交付額推移



## 塾生代表所感

800,000円の申請額に対し、800,000円の満額交付とした。  
使用用途が明確であり、活動の公益性が高いと判断した。  
繰越金の積み立てに向けて動いていけるようにと促した。

# 塾生代表前田じん 公約達成状況(2020年1月31日任期終了)

## 公約①「不祥事から塾生を守る党」

### 達成

慶應義塾大学内で起きた3回の不祥事に対して、計1200mlの献血を行った。塾生代表自ら若き血を捧げていくことで、塾生の節度ある学校生活を促した。

## 公約②「塾生代表選挙の公選制の廃止、指名制への移行」

**不達成** 2019年8月22日の全塾協議会臨時会にて、次回以降の塾生代表選挙を塾生からの直接投票制から議員での指名制に移行するための規約改正案を塾生代表前田が提出した。結果は賛成3人・反対4人で全会一致とはならず否決となった。主な否決理由としては「公選制の排除へのリスク」「学生部の自治会費代理徴収制廃止の危惧」などがあげられた。この結果、2019年12月を目途に「2020年度塾生代表選挙」が塾生の直接投票制にて行われることが決定した。

## 公約③「塾生代表選挙のハガキ制度の廃止、塾内交付金格差を是正し学内イベントの参加者増加」

**達成** 2019年8月22日の全塾協議会臨時会にて、選挙のハガキ郵送制度の廃止が議員と塾生代表の間で一致し、今後はSNSを通じた選挙広報を行っていく方針となった。2019年8月31日の全塾協議会リーダーズキャンプにて、選挙管理委員会の交付金を約270万円から100万円に削減した。ハガキ代にかかっていた約210万を削減し、約40万を塾生代表選挙のSNS広報費用、残りの約170万を各学生団体の交付金に還元配分した。この結果、2020年度予算は数多くの学生団体が交付金を申請額通りまたは例年よりupして受給出来ることとなり、例年起きている団体間の塾内交付金格差問題の是正に貢献した。